

「対話イン関東2011」学生の事後アンケートの結果

1. アンケート回答者：合計16名（学生15名、学生オブザーバ1名）、73%（対話会参加者；計22名）。

内訳：D3（1名）、M2（5名）、M1（4名）、B4（3名）、B3（3名）

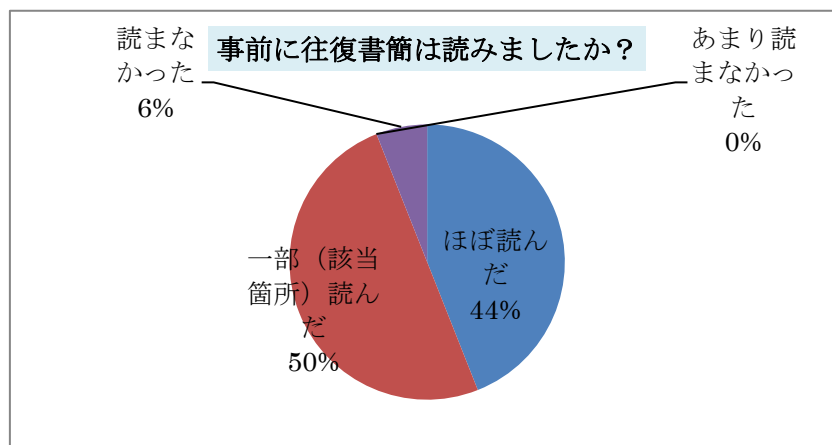
2. アンケート結果：往復書簡の参加学生が多いので、他の対話会に比し厳しい結果になっている。

①事前に往復書簡は読みましたか？その理由は？

ほぼ読んだ（44%）、一部（対話該当箇所等）読んだ（50%）、あまり読まなかった（0%）、読まなかった（6%）

理由：・往復書簡に参加しているのではほぼ読んだ。不安だったのでほぼ読んだ。

- ・添付資料等全部は読めなかったが、該当箇所は読んだ。
- ・時間がなくて全部は読めなかったが大変ためになった。
- ・量が多く、全てに目が通せませんでした。



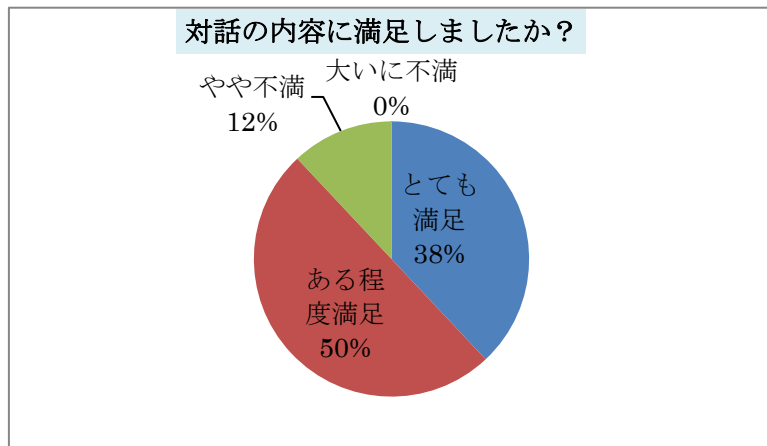
②対話の内容は満足のものでしたか？その理由は？

とても満足した（38%）、ある程度満足した（50%）、やや不満だ（12%）、大いに不満だ（0%）

理由：・色々の事を学ぶことができた。シニアの方から話を聞いたので「とても満足した」。

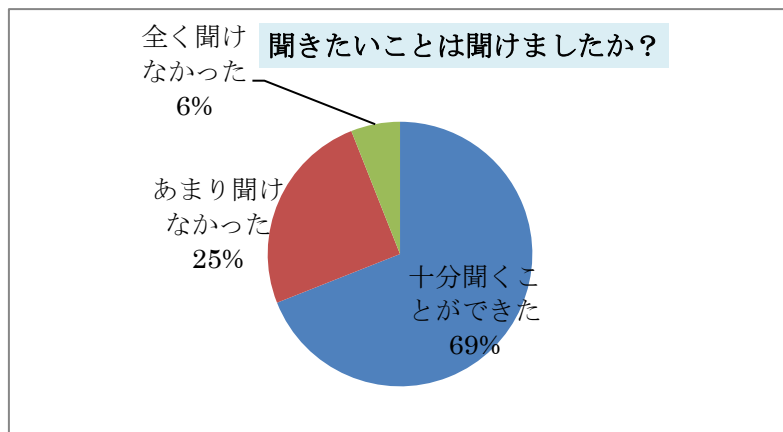
- ・幅広い知識を知ることが出来たから「とても満足した」。
- ・核燃料サイクルのどこに問題があるのか知れたため「とても満足した」。
- ・シニアの方の意見は学生間では出来にくい“新しい視点・新たな危機感”を提供して頂き、とても参考になりました。
- ・自分が日ごろ考えていたことを経験ある先輩方のためになる意見を聞いたため「ある程度満足した」。(原文のまま)
- ・勉強になった上、刺激になりました。
- ・数値的な感覚をどんどん取り入れたかったが、定量的な話はあまり出なかった。

- ・やはりシニアの話は長い。



③事前に関きたいと思っていたことは聞けましたか？

十分聞くことができた(69%)、あまり聞けなかった(25%)、全く聞けなかった(6%)



④今回の対話で得られたことは何ですか？

- ・歴史的・国際的視点を採り入れることができた。広い視点や違う視点で問題を見ることができた。シニアの方と知り合い、話すことができること。
- ・やはり原子力は必要だと感じました。原子力は世間で重要とされていること。
- ・己の無知を知ることができた。自分の認識の甘さ。
- ・日本の中央、地方の関係の難しさ。法整備の必要性。
- ・メーカー側の考えや、東電とメーカーの関係の話。
- ・安全設備の問題より社会システム、安全に対する意識。
- ・「再処理が有る」ということの価値とヒステリックな今決めてしまうとどのようなことが予想されるかということです。
- ・シニアの方の考え方の変化。シニアの人たちの基本的な考え。シニアのエネルギー問題に対する視点。

⑤「学生とシニアの対話」の必要性についてどのように感じますか？その理由は？

非常にある（94%）、ややある（6%）、あまりない（0%）、全くない（0%）

理由：・歴史を担ってきた方々の意見を把握しておくことは有意義だと思います。昔の話、原子力業界の歴史を知ることは必要である。

・先輩の意見はとても価値のある物と考えます。現場で全力でやってきた方々の意見を学ぶことで、原子力の日本の在り方を学べるから。

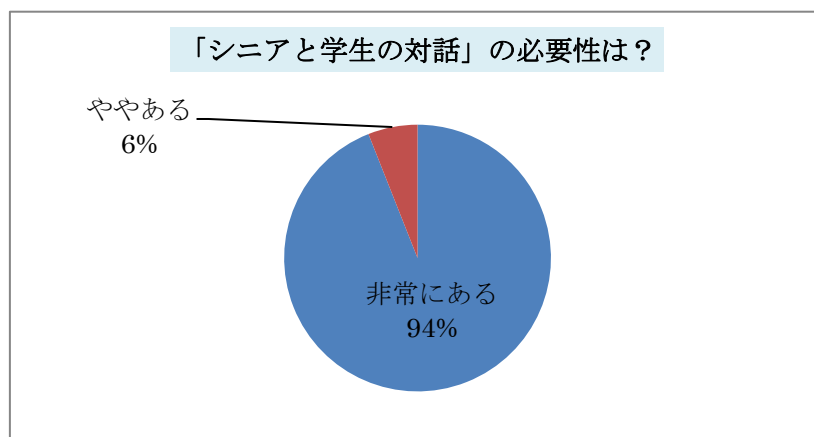
・こんなに原子力を考えている方々がいる、とても原子力を好きだという人がいるということが、とても良い経験になった。

・文書を調べるだけでは絶対に知れないような、現場の雰囲気や心意気を学ぶことができるから。対話自体が不足していると考えている。

・シニアの学んだことを継承することは重要。また、日本は目上の人に対して意見を言うことが難しいので、こういった機会を設けることは意味がある。

・学生のみでは見えにくい視点を与えて下さるのでとても必要だと思います。次回もよろしくお願ひ致します。

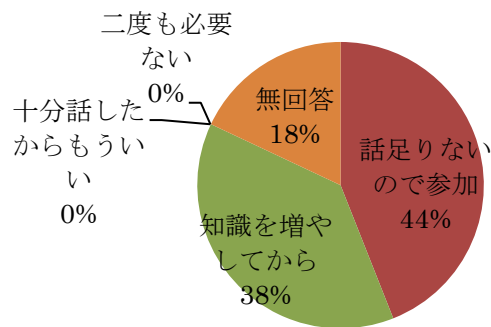
・学生のレベルアップ。



⑥ 今後、機会があれば再度シニアとの対話に参加したいと思いますか？

話足りないので参加したい（44%）、知識を増やしてから参加したい（38%）、十分話が出来たからもういい（0%）、二度も必要ないと思いからもういい（0%）、その他（空欄に記入）（18%）（無回答）

機会があれば再度対話に参加したいと思いますか？



⑦ エネルギー危機に対する認識に変化はありましたか？その理由は？

大いに变化した（13%）、多少变化した（31%）、あまり变化しなかった（25%）、全く变化しなかった（19%）、無回答（13%）

理由：・シニアと同意見（全く变化しなかった）。

・原子力のあるべき姿について再認識出来ました（多少变化した）。

・問題はもっと複雑だった、日本に原子力がなくなったらどれほど厳しい状況になるか理解出来たため（多少变化した）。

・エネルギー危機という点では大きな変化はありませんでしたが、再処理に関する認識がとても変化しました（多少变化した）。

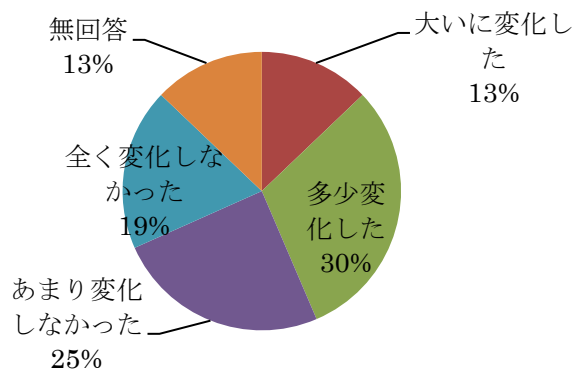
・エネルギー源が変化するには長い時間がかかる、代替案がない段階では原子力必要（多少变化した）。

・参加する前から今大変厳しい状況だということは理解しているので（あまり变化しなかった）。

・これまで考えていたことがシニアの方と一致したため（あまり变化しなかった）。

・原子力はやはり止めるべきではないと改めて感じた（大いに变化した）。

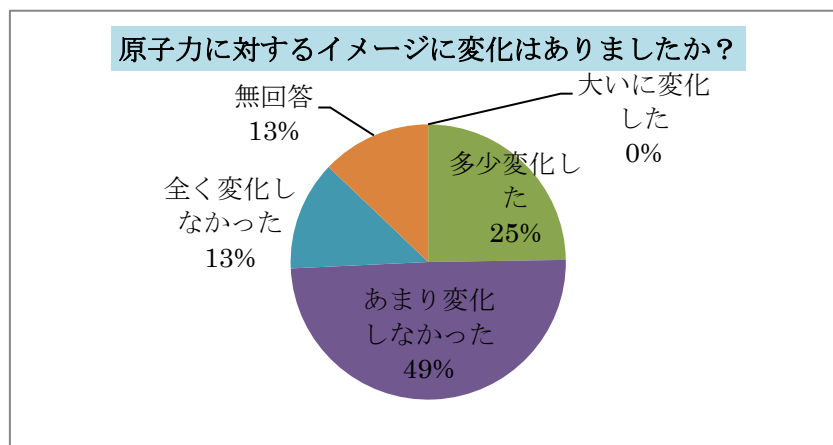
エネルギー危機認識に変化はありましたか？



⑧ 原子力に対するイメージに変化はありましたか？その理由は？

大いに变化した（0%）、多少变化した（25%）、あまり变化しなかった（50%）、全く变化しなかった（13%）、無回答（13%）

理由：・想像以上に核不拡散に足を引っ張られているということを感じた（多少变化した）
・一応大学で勉強しているから。以前から悪いイメージはなかったので。今後必要、このことにシニアも異論はないと思った。自分の考えている通りであった。
（あまり变化しなかった）

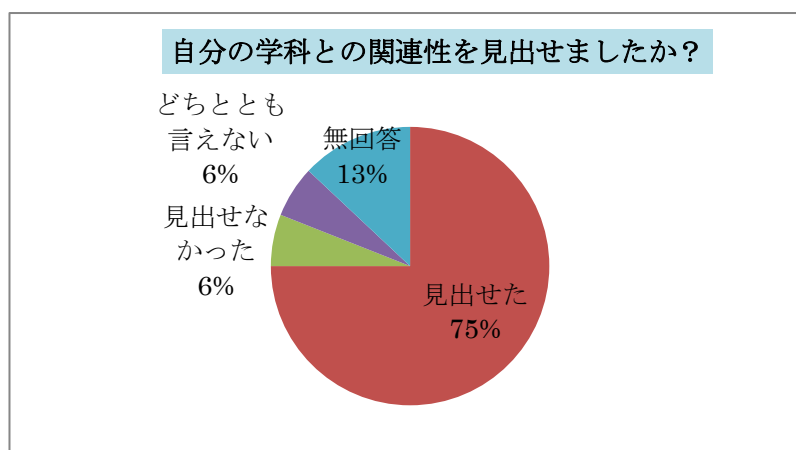


⑨今回の対話で自分の学科との関連性を見出すことができましたか？その理由は？

見出せた（75%）、見出せなかった（6%）、どちらとも言えない（6%）、無回答（13%）

理由：・安全性に関しては基礎研究のあり方が重要であり、機械工学科である自分の研究の位置づけを感じました。原子力のどんなこともつながっているから、専攻が原子力であるため、政策の重要性が判った。高速炉の重要性が判ったため（見出せた）。

- ・研究室では炉物理ですが、大きく見た政策などにもっと関心をもつべきだと思いました（見出せた）。
- ・自分の専門と異なるため（見出せなかった）。



⑩対話の内容から将来のイメージができましたか？その理由は？

出来た（25%）、ある程度出来た（44%）、あまり出来なかった（19%）、
全く出来なかった（0%）、無回答（13%）

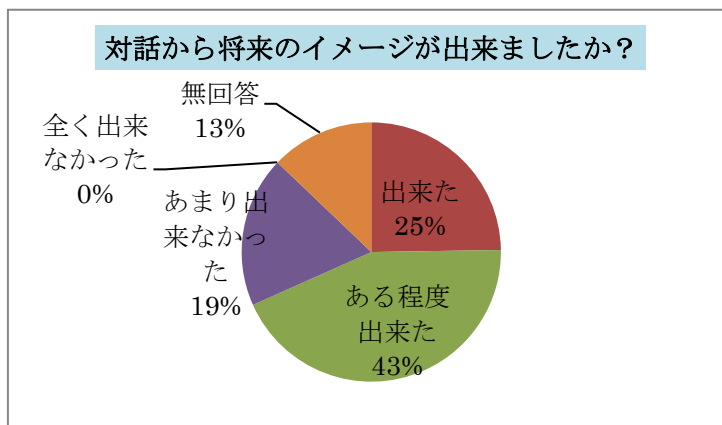
理由：・ステークホルダーの気持ちに立って対話することの重要性（出来た）

・メーカー・電力ともにやるべき役割について学べて技術者としても心構えを教えてもらいました。将来どのような技術・知識・国民の理解が必要か理解出来たため（出来た）。

・やはり原子力を捨てるというのは現実的ではないと再認識した。事故を調査し、対策も踏まえた原子力の推進。メーカー・事業者・行政それぞれの役割責任がより明確になった。今後やるべきことは決まっている、問題はどうか（ある程度出来た）。

・国民教育の必要性をととても感じました。技術営業を目指す自分にとってとても有意義でした（ある程度出来た）。

・課題が多いため、問題点を理解出来た段階だから。まだ正直わからない（あまり出来なかった）。



⑪対話の中でシニアが思う若手の役割を理解できましたか？またその理由は？

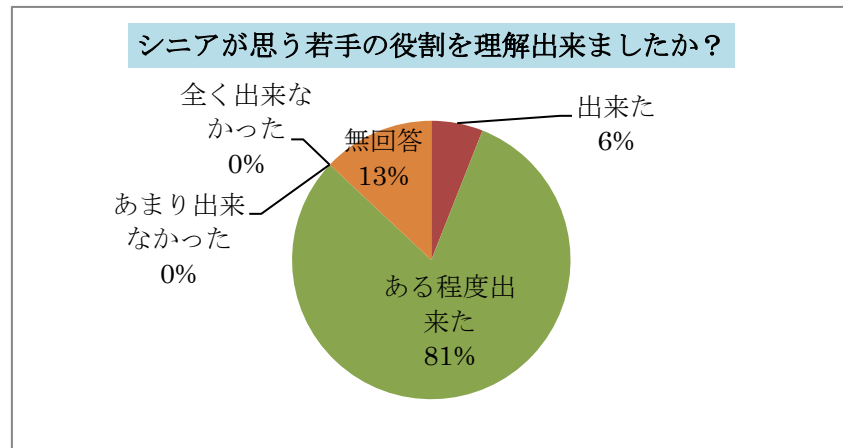
出来た（6%）、ある程度出来た（81%）、あまり出来なかった（0%）、
全く出来なかった（0%）、無回答（13%）

理由：・もっともっと学生が大きな声をあげる必要があると感じました（出来た）。

・自分らがせっかく再処理を進めたのだから、これからも進めるべきだ（ある程度出来た）。

・学生から一般の方々への発信が求められている。原子力に対して正しい知識を伝えていかななくてはいけないこと（ある程度出来た）。

・シニアの方々が全力で話してくれたので、自分たちの世代に技術や考えを伝える意気込みが伝わりました。期待してもらっているということ。熱い人材になってほしいと言われました（ある程度出来た）。



⑫自分が思っていた若手の役割とシニアの考えは違いましたか？どのような違いがありましたか？また、シニアの考えを聞くことで、自分の考えに変化はありましたか？できるだけ詳しくお答えください。

- ・これからの意思決定はボトムアップが重要とされるが、シニアはトップダウンを求める感がある。
- ・学生があまり大きく意見を言うのは危険であると思っているし、それは変わらない。
- ・日本の原子力の技術を教えてもらい、また次の代に伝えることの重要性を考えている点で本質は同じだと思いました。
- ・シニアの方が自身の考えをしっかり持っているイメージを受けたので、若手ももっと自分を持たなくてはいけないと思いました。
- ・やっぱり厳しい方々でしたが、期待もしてくれていた。
- ・授業外で、各分野に鋭い突っ込みがある場はなかなかないので、自分がまだまだ成長出来るとより強く思えました。

⑬本企画を通して全体の感想・意見などがあれば自由に書いてください。

- ・史料館見学が大変有意義だった。
- ・1日でしたが、いろいろ学べました。
- ・シニアの皆さんのように自分もいつか現役を退いた後も、全力で現役にいい意味で伝えられるような技術者を目指したいと考えています。
- ・シニアの方と話をする機会はとても良いと思うので、またやっていただきたい。
- ・もっと時間を取って話したいです。
- ・他大学の方との交流がとても刺激的ですし、新しい視点を教えてもらえてとても良かったです。

以上